



免疫染色用増強試薬



Beacle, Inc.

Signal Booster Immunostain

Signal Booster Immunostainは免疫染色における抗原抗体反応を促進する試薬です。当社のWestern Blotting やELISA用のSignal Booster の原理と技術を発展させて開発されました。Signal Booster Immunostainは免疫染色で用いる一次、二次抗体の希釈液として利用することで、シグナルを向上させ、バックグラウンドを低減させる効果を有する試薬です。詳細は裏面の実施例をご覧ください。

特長

1. シグナルを増強させ、且つ、バックグラウンドを低減します。
 2. どんな種類の抗体でも利用可能です(注)。
 3. 使い方は簡単、反応時の抗体を本試薬で希釈するだけです。
 4. 既存品より安価です。
- (注: 抗体の特性によっては本試薬の効果が十分得られない場合もあります)

【製品構成】

Signal Booster Immunostain には以下の3種類の溶液があります。

Solution F :バックグラウンドをより低下させるように設計された組成です。

良好な抗体を用いて微細構造を見る場合にお勧めします。

Solution M :FとSの中間の性質を有した組成です。最初に試す場合に利用すると便利です。

Solution S :より強いシグナルを得るように設計された組成です。

多少バックグラウンドが高くても染色像を見たい場合にお勧めします。

(ご注意: 各溶液の性質は、一般的性質を示したものであり、使用抗体の特性によって反応は異なります。)

【製品種類】

| 製品番号 | 構成 | 容量 | 販売価格(税抜き) |
|---------|----------------------|-------|-----------|
| BCL-IS | Solution F、M、Sの3種セット | 各10mL | ¥11,000 |
| BCL-ISF | Solution F | 20mL | ¥16,000 |
| BCL-ISM | Solution M | 20mL | ¥16,000 |
| BCL-ISS | Solution S | 20mL | ¥16,000 |

BCL-ISはスターターキットとして、研究に最適なsolutionを選択する時にご使用ください。

【製造・販売元】

株式会社ビークル

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町14-1

TEL: 075-762-5055 FAX: 075-762-3055

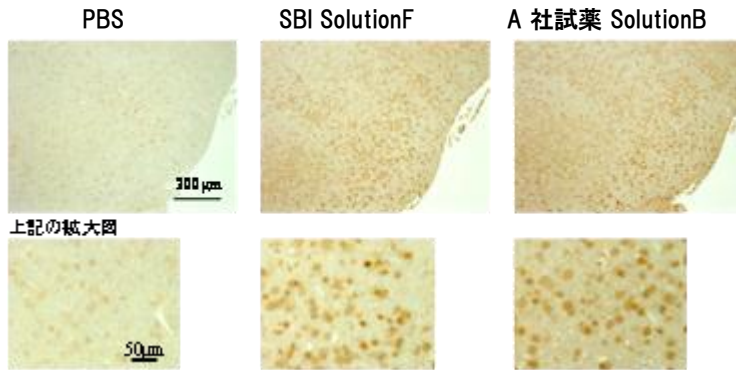
website: www.beacle.com

E-mail : binformation@beacle.com

【ご注文先】

Signal Booster Immunostainの実施例

○ マウス脳組織パラフィン切片でCdk4を染色した結果



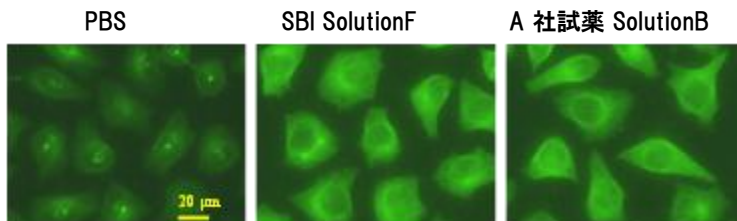
1次抗体を3種の条件で希釈し反応させた結果、Signal Booster ImmunostainはPBSより強い染色を示し、類似試薬と同等以上の染色増強能を示した。
1st Ab: anti-Cdk4(Rabbit poly)、Fixation:4% paraformaldehyde in PBS、Blocking:5%FBS in PBS、Stained by ABC (for rabbit) method。
図から前脳のグリアと思われる小細胞が染まっていることが分かる。

○ ラット脳凍結切片でdimethyl histoneを染色した結果



1次抗体を3種の条件で希釈し反応させた結果、Signal Booster ImmunostainはPBSより強い染色を示し、類似試薬と同等以上の染色増強能を示した。
1st Ab: anti-demethyl histone (Rabbit IgG mAb)、Fixation:4% paraformaldehyde in PBS、Blocking:5%FBS in PBS、Stained by ABC (for rabbit) method。
図から大脳皮質辺縁部の神経細胞の核と思われる部分が染まっていることが分かる。

○ A549細胞の α -Tubulinを染色した結果



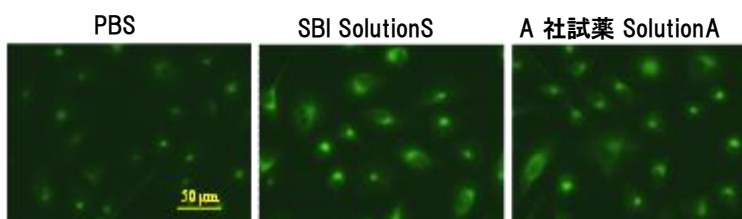
1次抗体・2次抗体を3種の条件で希釈し反応させた結果、Signal Booster ImmunostainはPBSより強い染色を示し、類似試薬と同等以上の染色増強能を示した。
1st Ab: anti- α tubulin (Rabbit poly)、2nd Ab:anti-Rabbit IgG (FITC conjugated)、Fixation:4% paraformaldehyde in PBS、Detergent: 0.1% TritonX-100 in PBS、Blocking:5%FBS in PBS。
写真から細胞内骨格系が染色されていることが分かる。

○ A431細胞のp53を染色した結果



1次抗体を3種の条件で希釈し反応させた結果、Signal Booster ImmunostainはPBSより強い染色を示し、類似試薬と同等以上の染色増強能を示した。
1st Ab: anti-p53 (Rabbit poly、FITC conjugated)、Fixation:4% paraformaldehyde in PBS、Detergent: 0.1% TritonX-100 in PBS、Blocking:5%FBS in PBS。
写真から核が染色されていることが分かる。

○ A549細胞のVimentine を染色した結果



1次抗体・2次抗体を3種の条件で希釈し反応させた結果、Signal Booster ImmunostainはPBSより強い染色を示し、類似試薬と同等以上の染色増強能を示した。
1st Ab: anti-vimentin (Mouse mono)、2nd Ab:anti-Mouse IgG (Alexa488 conjugated)、Fixation:4% paraformaldehyde in PBS、Detergent: 0.1% TritonX-100 in PBS、Blocking:5%FBS in PBS。
写真から細胞内骨格系の一部が染色されていることが分かる。